



(社)日本ユネスコ協会連盟

AV通信

戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。

明けましておめでとうございます



芦屋ユネスコ協会

会長 山田 利郎

会員の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えになられたことと拝察致して大慶に存じております。

昨年は、民間ユネスコ協会連盟が創立され70周年を迎え、芦屋ユネスコ協会も年間を通して、発足70年の記念事業を実施いたしました。

今年度は、2009年にスタートした「未来遺産運動」が10周年目を迎えます。有形・無形の文化財や自然環境などの保護・保全については政府や地方公共団体によって多くの施策がとられているところですが、その背景にある市民による保全活動を応援し、次世代へと伝えていくために、芦

屋ユネスコ協会も「芦屋の未来遺産100選」の周知に努めてまいりたいと存じています。

ユネスコは国際平和と人類の福祉の向上を目的に、人類の知的及び精神的連帯の構築のため、多彩な活動を行ってきました。これからも「平和な世界の実現」「持続可能な社会の実現のための教育の実践」を使命と責務として、現在の各種活動をさらに充実強化させると共に、さらなるユネスコ理念の普及・ユネスコ活動の担い手の拡大・支援者を拡充してグローバルな視野を持った次世代の育成と、識字教育の支援・未来遺産の普及活動など、生き生きとした社会の構築に努めてまいりたいと存じますので、会員の皆様も各種事業・行事に積極的にご参加いただき、推進の役割を担ってくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

皆様のご多幸を祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。

芦屋ユネスコ協会 設立 70 周年記念 年末講演会 & 親睦会



昨年末の12月19日(火)午後6時から、恒例となった「年末講演会&親睦会」がホテル竹園を会場に、来賓・会員約80名のご参加を得、盛大に開催されました。

今年度は会長代理の塩井副会長からの挨拶で開会、ご来賓への参加のお礼と、創立70周年記念を冠した世界遺産・地域遺産バス旅行、「総会&懇親会」、「民間ユネスコ運動」街頭キャンペーン、芦屋市および市教育委員会と共催実施の「平和の鐘

を鳴らそう」行事、書き損じハガキの回収、学校への出前授業、東北や熊本震災支援マラソン大会の開催など、アニバーサルな1年間の事業を振り返り、これも市・市教委をはじめ会員皆様のご尽力の賜物であると、感謝の言葉が述べられました。

引き続き、感謝状贈呈。今年度もユネスコ「世界寺子屋運動」などへの基金をご寄付いただいたN・G・Pプロテューチングゴルフ協会会長の山下義房様に感謝状が贈呈されました。

今年度の「記念講演会」は、12月に着任されたばかりの石川和秀大使から、「南シナ海をめぐる問題」と題したお話を伺いました。

石川大使の前任国はフィリピンとのことでしたが、その前にはアジア大洋州局南部アジア部長を務められており、そうしたご経験に基づく南シナ海諸島での領有権問題という、中国・台湾・ベトナム・フィリピン・マレーシア・ブルネイや日本の関係や展望を含んだグローバルなお話でした。



南シナ海における領有権の確定していない島々がこれほど多くあること、またこの問題が地域の平和と安定に直結し、日本を含む国際社会の正当な関心事項であることを学ぶことが



できました。

そんなグローバルなお話が続いて、開宴のご挨拶と乾杯のご発声を山中 健 芦屋市長(芦屋ユネスコ協会顧問)からいただき、会場は和気あいあい、和やかな懇談と共に美味しいお料理に舌鼓をうちました。

恒例のビンゴゲームは、池西常任理事を中心に理事・会員のご協力により進められ、参加された皆様も数多くの豪華景品を勝ち取って、大使を含め大いに盛り上がりました。



エンターテイメントは、声楽家の山崎直美様(伴奏:高宮 学様)ほか、女性コーラスの皆さんによる歌・クリスマスソングを楽しみ、「ジングルベル」「赤鼻のトナカイ」を全員で熱唱して盛り上がりました。

例年通り締めくくりは、福岡憲助教育長(当協会顧問)の閉会のご挨拶。

芦屋ユネスコ協会の皆様が素晴らしい新年を迎えられ、益々の発展を祈念する旨の閉会の挨拶を頂戴し、そのあとライトダウンして、全員で手を繋ぎ輪になって「蛍の光」を歌い絆を深めながら、2017年の年末最終のユネスコ行事を盛大に終了することが出来ました。

2017年は、芦屋ユネスコ協会にとって創立70周年という記念すべき1年でした。さまざまな行事・事業にご参加・ご協力くださいました会員・役員の皆様、本当にありがとうございました。



【報告】2017年近畿ブロック ユネスコ活動研究会



10月14日(土)、秋晴れの中、和歌山県北部紀ノ川河畔に位置する粉河ふるさとセンターで「近畿ブロックユネスコ活動研究会」が開催されました。

今回のテーマは、「民間ユネスコ運動の再認識と組織の拡充」。

芦屋からは塩井事務局長、戎井常任理事、藤井常任理事、徳矢常任理事、中川理事の5名が参加しましたが、会場は約160名の参加者で賑わっていました。

オープニングは、粉河太鼓の演奏で始まり、近畿ユネスコ協議会会長の中馬氏などから開催の挨拶がありました。



午後からは、2017年に日本がユネスコ世界記憶遺産へ登録申請した杉原千畝の「VISA FOR LIFE」の基調講演がありました。1940年7月、約6,000人のユダヤ難民を救った、日本の外交官であった杉原千畝。氏の日本への通過査証を発給した経緯などを拝聴しました。しかしながらこの半月後、この世界記憶遺産への登録はユネスコ本部において却下されたのです。真実性をその登録のポリシーとするこの判断に、杉原リストが美談であったのか、作為的のものであったのかは、シベリア鉄道に乗り中国東北部に入国してきたユダヤ難民への査証発給の真実が、当時の満州帝国の幻影とともに消え去ってしまったようです。

◆次回の開催地は滋賀県彦根ユネスコ協会です。(文責：中川 明理事 / 写真：塩井事務局長)

ユネスコ世界寺子屋運動にご協力ください!!

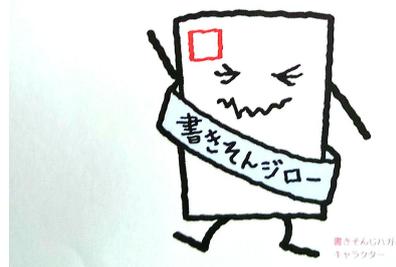
11枚の書き損じハガキで、1人がひと月学校に通えます。ご家庭に眠っている書き損じハガキや未使用の切手・プリペイドカードなどで、これまで世界の130万人の子どもたちの学びの場が広がっています。

あなたも、この「世界寺子屋運動」にお力添えください。

芦屋市内には、次の施設にボックスを配置しています。

●市役所北館4階(教委カウンター) ●ラポルテ市民サービスコーナー ●市立芦屋病院 ●リードあしや ●上宮川文化センター ●エルホーム ●市立精道中学校・山手中学校・潮見中学校 ●市立精道小学校・宮川小学校・山手小学校・岩園小学校・朝日ヶ丘小学校・潮見小学校・打出浜小学校・浜風小学校 ●私立甲南学園高等学校・中学校 ●私立芦屋学園中学校・高等学校

書きそんじローで
世界を救おうっ!





次代へつなごう 「芦屋の未来遺産」

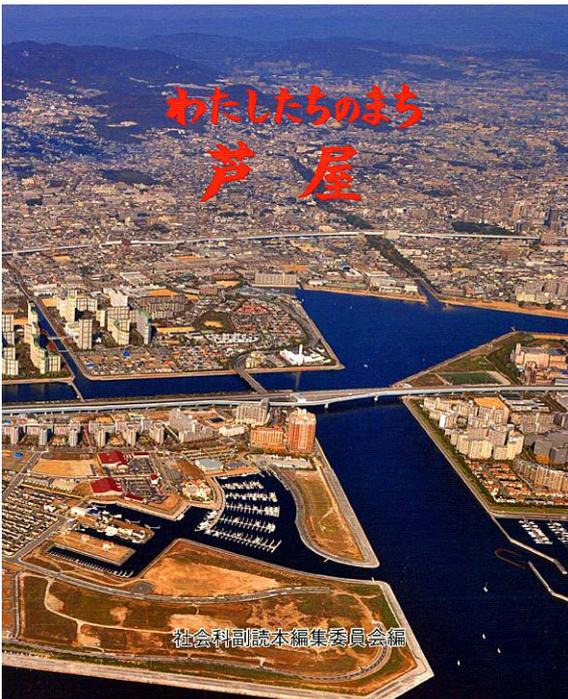
～芦屋文化の 100 年リレー⑬～

■「芦屋の未来遺産 100 選」を子ども教材用に編集

私たちの住む芦屋市は、自然遺産・史跡と文化財、民話や歌物語、郷土資料や芸術文化、ライフスタイルを含め、人口も 10 万人に満たない小さなまちですが、日本でも有数の、未来へ伝えるべき多くの遺産を抱える宝石のようなまちです。



昨年は、そんな芦屋のまちを自然遺産・歴史遺産・文化遺産・景観遺産・



その他の遺産に分類、未来遺産運動推進委員会で 100 年後の子どもたちに残したい「芦屋の未来遺産 100 選」を選定し、今後どのように周知していくのがよいかについて検討してきました。

その結果、小学校 3 年生が社会科副読本として学んでいる「わたしたちのまち芦屋」に、この 100 選を差し込むことになりました。そこで、子どもたち用に新たに編集をし直し、漢字にはルビを打ち、写真やマップ・解説をできるだけ入れた原案を作成し、今年 5 月の未来遺産運動推進委員会で詳細について検討することになりました。

現在、原案の作成に取り掛かっていますが、今年中には会員の皆様にもお目かけられるよう進めていこうと考えています。

また今後の進捗状況については、随時、ご報告いたします。

<文責 / 写真:南 ゆう子事務局次長>



- 写真(上)・芦屋公園の松林
- 写真(左から) ・高座の滝
・芦屋川の景観
・在原業平の歌碑

世界遺産・地域遺産見学バスツアー 2018 ご案内 世界遺産 2019 年登録予定資産を訪ねる旅

恒例となりました春の「世界遺産・地域遺産見学バスツアー」が、中川理事のご尽力で下記のとおりになりました。奮ってご参加ください。

- ◆日 時 4月3日(火)午前9時00分<出発>～午後5時<帰着予定>
- ◆集 合 午前8時45分に、ホテル竹園ロビー集合
- ◆行 き 先 百舌鳥・古市古墳群(2019年登録予定) 《堺市役所展望台＝堺市立博物館
＝がんこ平野屋敷(昼食)＝近つ飛鳥博物館＝道の駅しらとりの郷羽曳野》
- ◆費 用 8,000円<昼食代含む> *当日の朝に徴収します
- ◆申し込み 下記「申込書」に必要事項を記入し、ファクスで3月17日までに。
ファクス送信先…0797-31-4562 《藤井祐子常任理事宛》
※ツアー前日・当日のキャンセルについては、後日実費をいただきます。
※旅程詳細及び緊急連絡先 **090-5093-6260**(交流部会 中川理事)へ

【お願い】

- 東日本大震災「子ども支援募金」にご協力をお願いします。
- 世界寺子屋運動のための「書き損じはがき」のご協力をお願いします。

新入会員の紹介

ご入会ありがとうございました。大歓迎申し上げます。

★中山 洋一 様

編集後記



- 平成30年度最初の事業「世界遺産・地域遺産見学バスツアー」のご案内を申し上げます。多くの皆様のご参加をお待ちしています。
- 新年度は、2009年に始まった「未来遺産運動」が10周年を迎えます。この運動は、2007年6月の第58回総会で採択された新運動方針で、100年後の子どもたちに日本の有形・無形の文化、自然環境を伝えることができるよう、啓発・保全運動に積極的に取り組むものです。地域遺産を未来へつないでいくため、昨年「芦屋の未来遺産100選」を選定しました。今年はさらなる「芦屋の未来遺産100選」の周知に工夫を重ねていきたいと願っています。 <文責:南 ゆう子>